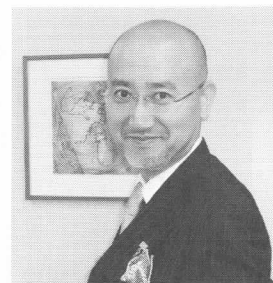


久野康成の

「私なら、こうする！」

非常識な実践経営アドバイス



第27回【自分と会社の目標が共有できません】

【プロフィール】
久野康成(くの・やすなり)
公認会計士。人財開発・東京コンサルティングファーム会長兼CEO。東京税理士法人統括代表社員。1965年生まれ。愛知県出身。滋賀大学経済学部を卒業後、青山監査法人(プライス ウォーターハウス)入所。監査部門・中堅企業経営支援部門にて、主に株式公開コンサルティング業に携わる。98年久野康成公認会計士事務所を設立。東京のほか、横浜、名古屋、大阪、インドにて「第2の会計事務所として会社を設立。経理部門へのスタッフ派遣・紹介など幅広い事業を展開し、グループ社員総数は360人に上る。著書に『できる若者は3年で辞める!』『2008年版 図解インドの投資・会計・税務の基本』『母性の経営—management therapy』(共に出版文化社)がある。

Question

私は営業職として働いています。会社の中では、トップの成績なのですが、会社からの期待も高いためか、頑張っても達成できないほどの高い目標が与えられます。私には家庭もあり、家族との時間も大切にしたいと考えています。仕事やお金だけがすべてではないと思います。売り上げを上げ続け、収入が増え、でも、家族との時間が持てない人は不幸だとも思います。お金だけでは足りない幸福を追求すると、会社とは目標が共有できません。どうすればよいでしょうか？
(東京都 32歳 営業)

Answer

物質的に豊かになっても心が満たされない人は多い
世の中には、精神的に豊かになれる人と物質的に豊かになれる人がいます。中には両方で豊かになれる人もいますが、多くの人は、そのどちらにもなれません。厳しいようですが、あなたは、その典型的な人と言えるかもしれません。家族から得られる精神的豊かさを追求しようとすれば、仕事を通じた物質的豊かさを犠牲にしなければならず、八方ふさがり状態といったところでしょうか。さて、われわれはまず、どちらの豊かさを追求すべきでしょうか。精神的に豊かになる簡単な方法があります。それは、足るを知り、現状に満足することです。自分が生きていること、生かされていることに満足し、感謝すれば誰もが今すぐに精神的に豊

かになれます。幸福とは、自分の心が決めるものです。考え方を変えれば、すぐに幸福になれます。

しかし、人間の心は移りやすいものです。精神的豊かさだけを追求していても、ある時、自分が痩せ我慢をしていたと気が付くかもしれません。その時のダメージは大きいと思います。そもそも、そのように思うこと自体、真の精神的豊かさを手に入れた人ではないのです。私も含め、人間とは、未熟で不完全なものです。このリスクをヘッジするほうが得策です。

また、物質的豊かさだけを追求すると不幸になる可能性が大了。幸福か不幸かは、自分の心が決めるものです。物質を追う人の特徴として、精神的渴望がベースにある人が多く、いくら物質的に豊かになっても、心が満たされない人が世の中には山ほどいます。従って、われわれは、この2つを追求する必要があります。そ

れぞれを達成するための方法論は、世の中では既に確立されています。しかし、そのアプローチ方法は、全く異なるため、われわれはどちらかに偏りがちになります。本来は、2つを同時に追求していく必要があるのですが、これができる人は少数派です。実は、この2つの方法論は、根この部分ではリンクしていて、そこに気付けば、すべては解決します。しかし、相当な勉強と人生経験をしないとその境地には至りません。

自身の使命を自覚した時に 本当の人生が始まる

結局、多くの人は家族を幸せにして精神的に豊かになれれば、お金はそれほど必要ではないといった発想に陥ります。この発想が、あなたを不幸にさせている最大の要因なのです。

このような考えは、お金は自分のために使うものと思っている人です。非常に自己中心的です。お金とは、自分のためだけで

はなく、人のためにも使うものなのです。従って、お金があればあるほど、人のために使うことができるようになります。お金を稼ぐ能力のある人は、徹底的に稼がなければいけません。

先程、精神的に豊かになるためには、足るを知り、現状に満足することと言いました。しかし、この方法よりさらに幸福になれる方法があります。それは、自分の家族だけではなく、より多くの人を幸福にさせることです。人を幸福にさせた分だけ、自分も幸福になります。これは「因果の法則」です。

子供の頃からわれわれは、お金儲けをすることを卑しいと教えられてきました。日本に起業家が少ないのは、お金に対する誤った教育のためかもしれません。お金は、能力に応じて稼ぎ、人徳に従い使うものです。本当の卑しさが現れるのは、稼ぎ方よりも使い方なのです。

世の中は、数少ない有能な人間によって動かされています。

自分が有能であるか否かは、徹底して努力しなければ分かりません。有能なのに自分の幸せや家族の幸せだけを願うことは、社会的な損失です。才能ある人間は、仕事を通じて社会的貢献を果たし、社会的にお金を循環させなければなりません。

鉄鋼王カーネギーは、自分に富を集中させました。それは、社会の管財人としての自覚を持つたからです。正しくお金を使える人が富を持つことは、社会的に有益なことなのです。

社会的貢献は、自分の強みを生かし、基本的に仕事を通じて行うことが最も効果的です。今は苦しい時かもしれませんが、ここを乗り切れると次のステージに進めます。

人間は、自分自身の使命を自覚した時に、本当の人生が始まったことを知るのである。

(このコーナーでは、経営に関するよくある質問の読者の皆様から受け付け、実践的アドバイスとしてお答えしております)